



2018-19年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン

第2600地区ガバナー 伊藤 雅基

国際ロータリー第2600地区
上田六文銭ロータリークラブ
Rokumonsen Rotary Club



【事務局】

〒386-0025 長野県上田市天神4-24-1
上田東急REIホテル 3F
TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002
<http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/>

《例会日》毎週火曜日 12:30~13:30
《例会場》上田東急REIホテル 2F
《創立》1997年2月18日

●会長 水野 泰雄 ●幹事 小嶋 修一 ●会報委員長 柄澤 堯 ●副委員長 大久保昌宏 ●委員 西澤 文登/渡邊 章貴

会長挨拶

水野 泰雄君

今年の夏はお天気には恵まれ～本日も無事に家族夜間例会が開催されました。

ご参加の会員家族の皆様には、日頃のロータリー活動にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。昨年の生川年度より、会員相互の親睦をより深めるために復活した花火大会例会です。ご家族はもちろん・お孫さんや友人と、2018年の上田の花火を思い出として心に刻んでいただけたら幸いです。

花火の元となる火薬が日本に伝わったのは1543年の種子島に流れ着いたポルトガル人の影響だったと言われています。そして1613年に徳川家康が日本人で初めて花火を見ました。徳川家康が見たのは打ち上げ花火で、それがきっかけで将軍や大名の間で流行し、やがて江戸の町民にまで広まりました。実際に“花火大会”として花火があがったのは1733年のことです。前の年に大飢餓とコレラが流行して大勢の死者が出ました。将軍徳川吉宗は慰霊と悪霊撤退、人々の無病息災を願って、川開きの5月28日(陰暦)に隅田川で水神祭を行い、花火を打ち上げたのです。これ依頼、川開きの日に花火が打ちあがるのが定番となり、全国で夏の花火が定着しました。

そう花火が上がると「たまや～！」と叫んでしまいますが、なぜでしょう？

江戸時代に庶民の間で人気となった花火は、花火師の鍵屋弥兵衛が作ったものでした。これが由来となって“鍵屋”が花火の定番となりましたが、鍵屋からのれん分けをした“玉屋”が登場したことで花火競争が行なわれるようになりました。や

がて東京で行なわれる隅田川の両国橋を境界として、下流は鍵屋、上流は玉屋が受け持つようになりました。人々は下流で花火が上がると「かぎや～！」と呼び、上流で花火が上がると「たまや～」と呼びました。ふたつの呼びかけで、昔も今も「たまや～！」の方が多いのには3つの理由があります。一つ目は、江戸時代の時から花火の技術は玉屋の方が勝っていたからです。二つ目は、語呂が良く掛け声にしやすかったからです。三つ目は、実力があつた玉屋がたった一代で消えてしまった玉屋への愛情を示したからです。玉屋は火事を起こしたことにより、花火界から追放されてしまったのです。

日本の花火大会は7～8月に多く、特にお盆の時期に集中しています。これには鎮魂の意味があるからです。迎え火、送り火、灯籠流しと同じ意味で死者を供養するために花火を打ち上げています。これは“鎮魂花火”と呼ばれます。綺麗に夜空に打ちあがり、一瞬で消える様子はとても儂く、人の命のようだと言えられました。灯りが消える悲しさや寂しさ、消えるものを慈しむ心を持つ日本人ならではの風習です。昔は戦や病気で命を落とす事も多かったことから、慰霊と悪霊退散を願ったのです。日本で始めての花火大会は両国大川(隅田川)の水神祭りでした。花火は江戸だけでなく、九州や愛知県など外国との交流があつた場所で製造されるようになりました。昭和に入ってから戦による火が拡大したため花火が打ち上げられる機会は減りましたが、花火を作る技術は衰えず、後継者を絶やさないことで現代までつながりました。

今でも花火大会が行なわれる日や場所には何かしらの意味があることが多いため、歴史をたどりながら花火を鑑賞するのも楽しいかもしれません。上田の花火大会も、ここにおられる会員さん

会報

が青年会議所時代に始められたとお聞きしております。引き継がれてこそこの伝統です。私たちもこの上田六文銭RCの伝統を守りながら新しい時代を切り開いて行きたいと思った2018年8月5日(日)の夜です。最後に、設営していただいた親睦委員会、ご協力いただいた会員さん・事務局にも大変感謝です。そしてご参加の皆様各位には本当にありがとうございました。

ロータリー財団地区補助金 活用事業「子ども食堂」

先週の土曜日(8月4日)には、ロータリー財団の地区補助金活用先の「子どもレストラン・きらっと」がオープンするというので、会長、幹事、生川直前会長、中澤財団委員長で目録を贈呈して参りました。すでに、食堂用什器備品の鍋やお皿は納品済みで広く活用され職員さんにも感謝されました。未来ある子ども達に少しでも力になれば幸いです。

今後は、毎月開催の「子ども食堂」に皆様のご協力をお願いします。



R 財団委員長 中澤信敏君より

当日は、この施設の意図と存在を知ってもらうためのイベントを開催していました。大人も子供も合わせ約 100 名の来場があったようです。

たくさんの子供達にこの施設の存在が知れ渡り、子供達が困った時にそっと寄り添うことができる身近な施設になることを期待しています。

しばらくは開催日を決めて受け入れを行うようです。

多くの大人達が、色々な支援をする必要があると感じました。引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

出席・ニコニコBOX報告

	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	23	12	0	47.82%
前々回	23	7	2	78.26%

定時受付(8/7)

上田 RC 鈴木 博高君 花島 秀憲君
矢島 康夫君
上田東 RC 今成 孝雄君

プログラム

上田河川敷 上田大花火大会 午後 6 時半～

会員、ご家族、ご友人の皆様にご多数ご出席いただきました。天候にも恵まれ、焼き鳥や漬物などの差し入れもいただき、花火を堪能しながらの楽しいひと時でした。



クラブテーマ「おもてなしから始まるクラブ活動」